

農業担い手メールマガジン（第122号）

インデックス

- 現場の皆さんへ ～農業経営における資金調達～
- 事業活用のポイント（１） ～担い手アクションサポート事業～
- 事業活用のポイント（２） ～耕作放棄地再生利用緊急対策～
- 農業経営者のステップ・アップのためのセミナーコース
～農業者大学校で専修科セミナーコース等の受講生を募集中！～

現場の皆さんへ ～農業経営における資金調達～

皆さんの経営でも、機械や設備を更新はもとより、既存の事業を拡大したり、新規事業に打って出ようとする際には、新たな資金調達が必要になることもあると思います。

今回は、農業経営における資金調達の手法に関して、最近の新しい動向を踏まえながら、ご紹介したいと思います。

農業における資金調達において、まず、第一に挙げられるのが農協や日本政策金融公庫などによる「融資」です。農業融資の分野においては、農業の特殊性を踏まえ、日本政策金融公庫などの金融機関により、スーパーＬ資金といった長期かつ低利の各種制度資金が用意されています。融資は少額の場合は、担保が必要ないこともありますが、まとまった額の資金を借り入れようと思えば、土地などの固定資産を担保提供しなくてはならないことがほとんどです。

これに対し、最近では、家畜などの動産を担保とする「ABL（Asset Based Lending：動産・債権担保融資）」という融資形態が畜産経営などで見られるようになって来ています。

さらに、農業法人の場合には、資金調達の手法として経営の元手である資本金を増資する場合があります。増資するには、株式や持分などを発行して資本金を得る方法が一般的ですが、アグリビジネス投資育成株式会社による出資も行われています。また、貸し手の金融機関に対する支払弁済順位が低く、自己資本と見なすことができる資本性資金（劣後ローン）を活用する方法もあります。

このように、農業経営の世界でも、様々な経営形態が広がり、事業分野も多角化する中で、資金調達の方法も多様化しています。

農林水産省としても、農業経営がさらに発展するよう、経営者の皆さんが円滑に資金調達できるように努めてまいります。

■ ABL（Asset Based Lending：動産・債権担保融資）に関する説明はこちら

→ <http://www.maff.go.jp/j/keiei/kinyu/abl/index.html>

■ アグリビジネス投資育成株式会社のホームページはこちら

→ <http://www.agri-invest.co.jp/>

■ 劣後ローンに関する最近の動向についてはこちら（報道発表資料）

→ http://www.afc.jfc.go.jp/topics/pdf/topics_090827b.pdf

■ ご意見・ご質問は下記へお願いいたします

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/7b27.html>

事業活用のポイント（１）

～ 担い手アクションサポート事業 ～

担い手アクションサポート事業は、市町村、農協、農業委員会、普及指導センター等の関係機関が連携し、各地域の担い手育成総合支援協議会（担い手協議会）に担い手支援のためのワンストップ支援窓口を設け、担い手の皆さんの経営発展に向けた取組に対するきめ細かな支援活動を一元的に実施するための事業です。

担い手協議会が実施する各種研修活動や経営相談・診断活動、営農指導活動等に対する助成のほか、皆さんが自ら取り組む各種活動経費についても担い手協議会を通じて助成を行うなど、多様な経営展開ニーズに対応できるよう、様々な支援メニューを用意しています。

（例えば、こんな経費にも助成します）

- ・ 経営管理能力を高めるための簿記講習の受講・資格取得
- ・ 規模拡大に向けた大型農耕車や無人ヘリ等の免許取得
- ・ 農産加工のための許認可や資格取得
- ・ 法人設立時の諸経費、先進経営体の現地視察 など

この事業を上手に活用するためには、まず担い手の皆さんの声を最寄りの担い手協議会に届けることがポイントです。「こんな研修会を開催して欲しい！」「あんな経営を目指しているので、知恵を貸して欲しい！」など、何でも相談しましょう。皆さんの声が担い手協議会の活動の活発化、機能アップにもつながると思います。

本年度の事業要望についても、まだ受け付けておりますので、詳しくは、各地域の担い手協議会または各地方農政局等までお問い合わせ下さい。

■ 担い手アクションサポート事業の詳細はこちら

→ http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_zigyo/action_support/index.html

事業活用のポイント（２）

～ 耕作放棄地再生利用緊急対策 ～

耕作放棄され荒廃してしまった農地で営農を再開するには、繁茂した雑草などを除

去し、土づくりをやり直すなど、相当の労力・費用を必要とします。また、用排水等の農地周りの施設や農業用機械・施設（トラクター、パイプハウス、果樹棚等）、農産物の加工・直売施設等が必要になる場合もあります。さらに、農地の所有者との調整や導入作物の検討、営農指導といった取り組みも重要です。

このため、「耕作放棄地再生利用緊急対策」では、次の交付金により、荒廃した耕作放棄地を再生・利用する取組を総合的に支援します。

1．再生利用交付金

（１）再生利用活動（貸借、作業受委託等により耕作放棄地を再生・利用する取組）

ア）再生作業（障害物除去、深耕、整地、家畜による刈払等）

- 荒廃の程度に応じ、3万円/10a又は5万円/10a
- 荒廃の程度が大きく重機等を用いて行う再生作業の場合【1/2（沖縄2/3）】

イ）土壌改良（肥料、有機質資材の投入、緑肥作物の栽培等）

- 2.5万円/10a（最大2年間）

ウ）営農定着（作物の作付け）

- 2.5万円/10a（1年間、水田等有効活用促進交付金の対象作物を除く）

エ）就農研修【定額】

- 農業法人等実践研修、IJUターン等就農研修

オ）経営展開【定額】

- 経営相談・指導、実証ほ場の設置・運営、加工品試作、試験販売等

（２）施設等補完整備【1/2（沖縄2/3）】

- 用排水施設、暗きょ、農道、鳥獣被害防止施設、農産物貯蔵・加工・直売施設、市民農園、農業用機械・施設等の整備

2．推進交付金【定額】

- 耕作放棄地対策協議会（市町村、農業委員会、農協、農業公社、土地改良区等で構成）が行う耕作放棄地に関する調査、利用調整、導入作物・販路の検討等

このように、本対策では様々なメニューを用意していますので、まずは、最寄りの耕作放棄地対策協議会（未設置の場合は市町村の農政担当課）と十分にご相談いただき、具体的な取組内容やスケジュールを定め、この交付金を有効にご活用下さい。

なお、ご質問などがありましたら、最寄りの耕作放棄地対策協議会又は各地方農政局等までお気軽にお問い合わせください。

■ 耕作放棄地再生利用緊急対策の詳細はこちら

→ <http://www.maff.go.jp/j/nousin/tikei/houkiti/index.html>

農業経営者のステップ・アップのためのセミナーコース

～ 農業者大学校で専修科セミナーコース等の受講生を募集中！～

農業者大学校では、現役の農業者を対象に、更なる経営力アップを目的とした「専修科」を、昨年に引き続き設置しています。

今年度は、セミナーコースとして、次の2コースを開講します。

（１）水田農業技術革新コース

(2) 先端的花き経営発展コース

各コースとも、2泊3日または3泊4日の宿泊を伴う講義など（水田コースは2回、花きコースは3回）と約半年間の在宅学習で構成されており、受講料は一人当たり通年で3万円です。最初の講義は平成21年10月から12月の間に予定されており、講義の期間は、1泊1,000円程度の研修宿泊施設が利用可能となっています。各コースとも定員は先着順の15名程度です。

また、科目履修コースでは、先端技術や経営管理等に関する約70科目の講義の中から学びたいものを選択して受講することができます。

詳しくは、農業者大学校HPをご覧ください。下記に直接お問い合わせ下さい。

【お問い合わせ・資料請求先】

農業者大学校企画管理室企画チーム 〒305-8523 茨城県つくば市観音台2-1-12
電話：029-838-1025 FAX：029-838-1059 E-mail：noshadai@naro.affrc.go.jp

■ 農業者大学校「専修科のご案内」はこちら

→ <http://farmers-ac.naro.affrc.go.jp/sensyu.html>

■ 農業経営に関わるご相談・ご質問は下記へお願いいたします

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/7b27.html>

編集後記

今日は台風一過で、全国的に落ち着いた天気となり、いよいよ秋を感じる季節となりました。先日発表された稲の作況は、北海道や北陸などを中心にやや不良という地域も多く、夏の日照不足や低温の影響が心配されます。

9月は、秋野菜やサツマイモ、里芋、果樹などの収穫期という地域も多いと思います。わが家でも、夏野菜はトマトなど果菜類の収穫期が終わり、ニガウリを少し残すのみとなりました。

(S)

○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月2回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：鈴木

農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/index.html>

このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_mailmaga/index.html

このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>